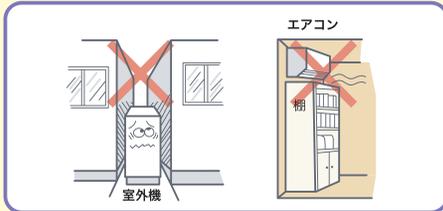


## 業務用冷凍空調 機器の所有者の責任が増加します

## 【所有者の義務】

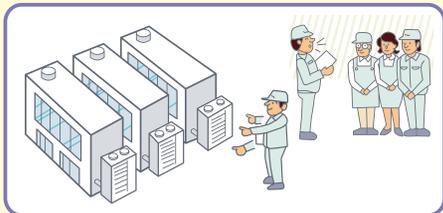
## ①適切な設置と適正な使用環境の維持保全

〔機器の設置・使用時〕



## ②日常的に簡易点検 (3か月に1回以上)

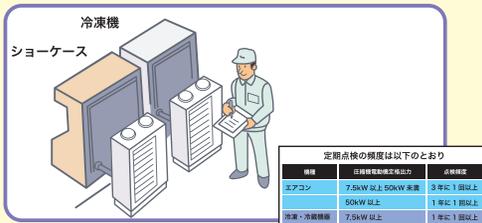
〔機器の使用時〕



## ③専門業者による定期点検

(圧縮機電動機定格出力 7.5kW 以上の機器)

〔機器の使用時〕



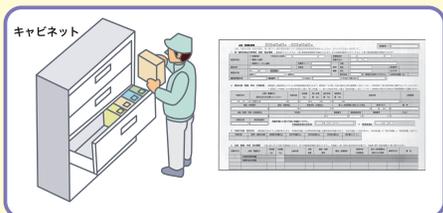
## ④漏えいの疑いがあるときは速やかに専門業者に点検・修理を依頼

〔機器の使用時〕

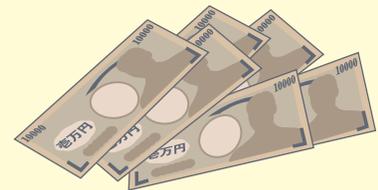


## ⑤点検・整備記録簿に記録・保存

〔機器の使用時〜廃棄後3年〕



## 【罰則】

①～⑤に対する  
違反の場合50万円以下の罰金<sup>※</sup>

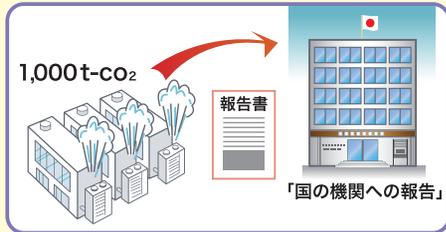
※命令違反の場合。ただし、圧縮機電動機定格出力が 7.5kW 以上の機器を 1 台も所有していない場合は、「指導助言」のみ

## 【所有者の義務】

## 【罰則】

- ⑥算定漏えい量の報告（フロンの漏えい量）  
（フロンをCO<sub>2</sub>換算で1000t以上漏えいの場合）

（機器の使用時）



- ⑦廃棄する際はフロン回収を専門業者に依頼

（機器の廃棄時）



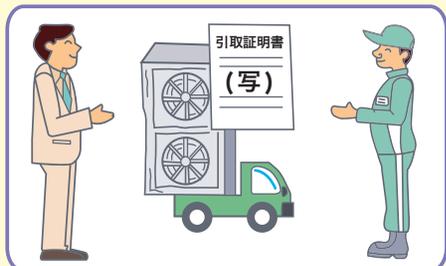
- ⑧フロン回収は書面で専門業者に依頼  
（行程管理票の交付・保存等）

（機器の廃棄時）



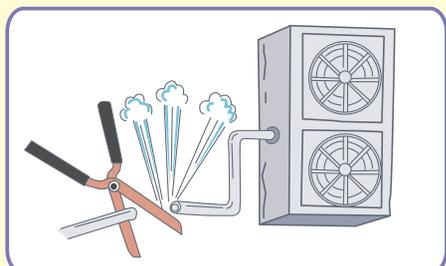
- ⑨フロン回収後、廃棄する際、産廃業者等へ  
「引取証明書（写し）」の交付

（機器の廃棄時）



- ⑩フロンをみだりに放出してはならない

（機器の設置時～廃棄時）



未報告、虚偽報告  
⇒10万円以下の過料  
（直接罰）

フロンの未回収  
⇒50万円以下の罰金  
（直接罰）

行程管理票未交付・未保存  
記載漏れ・虚偽記載  
⇒30万円以下の罰金  
（直接罰）

未交付  
⇒30万円以下の罰金  
（直接罰）

みだりに放出  
⇒1年以下の懲役又は  
50万円以下の罰金  
（直接罰）

（※⑦～⑨違反の場合、命令違反でも50万円以下の罰金）